

トピックス

1. 映画「WOOD JOB!」で「森林の仕事」が注目

- 平成26(2014)年は、林業の世界に足を踏み入れた若者が主人公の映画が公開され、林業がエンターテインメントの世界でも注目。
- 林野庁が平成15(2003)年度から実施している「緑の雇用」事業もモデル。
- 林業の現場作業のほか、「森林施業プランナー」や「森林総合監理士(フォレスター)」、さらにしいたけや木炭の生産、野生鳥獣の狩猟など、様々な「森林の仕事」。
- 政府では、新たな木材需要の創出等により、林業・木材産業の成長産業化を実現し、山村地域に産業と雇用を生み出す方針。

トピックス

2. 「CLTの普及に向けたロードマップ」が公表

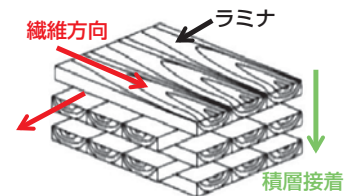
- 新たな木材製品であるCLT(直交集成板)について、平成26(2014)年11月に林野庁と国土交通省が、今後の本格的な普及に向けたロードマップを公表。
- 3つの主要な施策の柱のうち、1つ目はCLTについての建築基準の整備。強度等のデータ収集を行った上で、平成28(2016)年度の早期を目途に関係告示を整備。
- 2つ目は実証的な建築事例の積み重ね。平成26(2014)年度には共同住宅や事務所・研修施設等(合計8棟)が建設。
- 3つ目はCLTの生産体制の構築。平成36(2024)年度までに50万㎡程度を目指す。



映画のポスター(農林水産省タイプアップ版)

[CLT]

一定の寸法に加工されたひき板(ラミナ)を繊維方向が直交するように積層接着した木材製品。(厚みのある木製パネルをつくることができ、欧米では中高層建築物の壁や床等に利用。)



CLTの模式図



CLTで建設中の共同住宅(岡山県真庭市)

トピックス 3. 「山の日」が国民の祝日に

- 平成26(2014)年5月に「祝日法」が改正(施行は平成28(2016)年)。8月11日を「山の日」と定め、その意義を「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」と規定。
- 我が国では「山」の多くは森林で覆われており、林野庁では「山の恩恵」ともいえる森林の多面的機能の持続的発揮に向け、森林の整備・保全に取り組み。
- また、森林環境教育等への支援や、国有林における「レクリエーションの森」の設定等を通じ、国民が「山」に親しむ機会や場を提供。
- 平成26(2014)年には「水循環基本法」も制定。「我が国は、国土の多くが森林に覆われていること等により水循環の恩恵を大いに享受」等と規定。



「祝日法」改正案の審議状況(参議院本会議にて)



全国「山の日」協会による「山の日」制定記念行事

トピックス 4. 長野県、広島県等で山地災害が多発

- 平成26(2014)年度は、台風や前線による集中豪雨で、日本各地の広い範囲で山崩れ、地すべり、土石流等の山地災害が多発。長野県、広島県等では住民の生命が失われた。
- 9月には御嶽山おんたけさんが噴火し、噴出した大量の土石等による二次災害の発生も懸念。
- 林野庁では、災害発生直後から、職員派遣やヘリコプターによる被害調査、大型土嚢のうや土石流センサーの設置等の応急対策、治山事業による復旧整備を実施。
- 事前防災・減災の観点から、治山施設の整備や森林整備の推進による「緑の国土強靱化」じんが重要。



ヘリコプターによる被害調査



大型土嚢の設置による応急対策